

函館工業高等専門学校

教育目標・学科教育目標

周知度アンケート調査結果

平成23年8月

函館工業高等専門学校

点検評価委員会

1. 周知度アンケート調査と調査結果の概要

函館工業高等専門学校教育目標・学科教育目標の学生への周知度を調べるためにアンケート調査を実施した。アンケート調査の実施期間は、平成23年5月12日から5月18日である。

アンケート調査での設問は、次の6項目となっている。

- 設問1. 本校の「函館高専教育目標A～F」を知っていますか？（教育目標の内容を全て憶えていなくても結構です）
 設問2. 質問1で(1)知っている、と答えた方にお伺いします。この教育目標をどこで知りましたか？（複数回答）
 設問3. 皆さんが所属する学科の「学科教育目標」（裏面）を知っていますか？（教育目標の内容を全て憶えていなくても結構です）。
 設問4. 質問3で(1)知っている、と答えた方にお伺いします。この教育目標をどこで知りましたか？（複数回答）
 設問5. 教員から、教育目標の内容に関する説明はありましたか？

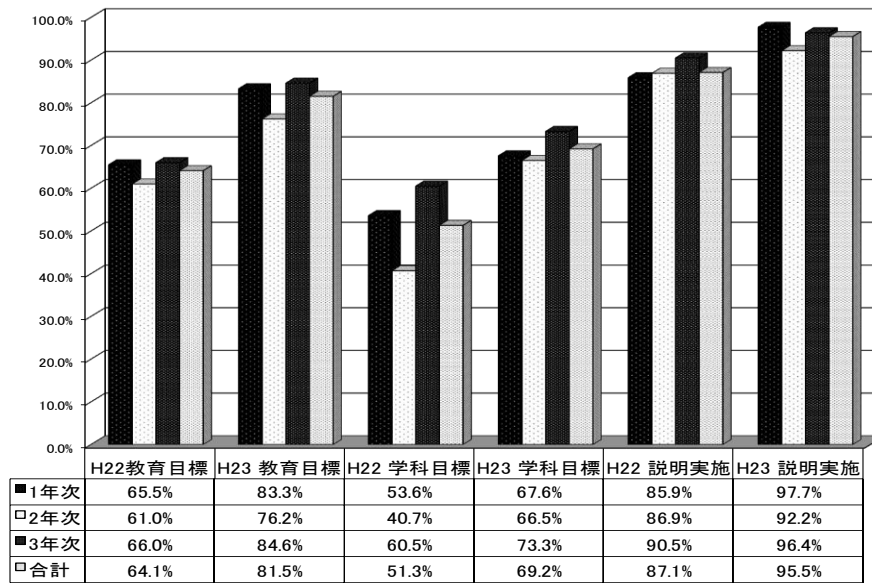
設問1と2では教育目標の周知度と周知の手段を、設問3と4では学科目標の周知度と周知の手段を、また、設問5では教員から教育目標・学科目標の内容説明を受けたかどうかを調べている。

アンケート調査の集計結果の一部を表1-Aに示す。アンケート対象学生656人(休学者は除く)に対して、回収率は98.9%となっている。調査の結果、函館高専教育目標の周知度(設問1)は全体で81.5%となっている。しかし、1年次の周知度83.3%、3年次の周知度84.6%に比べて2年次では76.2%と2年次の周知度が低くなっている。また、学科教育目標の周知度(設問3)に関しては1年次が67.6%、2年次が66.5%と6割台なのに対して3年次が最も高く、73.3%であった。これら傾向は昨年度と同様である。(表1-B H22年度データ参照)

表1-A H23年度集計結果(クラス別)

	回収率			設問1 函館高専教育目標の周知度				設問3 学科教育目標の周知度				設問5 学習・教育目標の説明の実施			
	クラス 人数	回収 数	回収率	(1) 知っている		(2) 知らない		(1) 知っている		(2) 知らない		(1) あった		(2) 無かった	
1M	45	45	100.0%	36	80.0%	9	20.0%	30	66.7%	15	33.3%	44	97.8%	1	2.2%
1E	42	42	100.0%	38	90.5%	4	9.5%	28	66.7%	14	33.3%	42	100.0%	0	0.0%
1J	40	39	97.5%	28	71.8%	11	28.2%	18	46.2%	21	53.8%	38	97.4%	1	2.6%
1C	47	47	100.0%	40	85.1%	7	14.9%	35	74.5%	12	25.5%	47	100.0%	0	0.0%
1Z	49	49	100.0%	43	87.8%	5	10.2%	39	79.6%	10	20.4%	46	93.9%	1	2.0%
1年次小計	223	222	99.6%	185	83.3%	36	16.2%	150	67.6%	72	32.4%	217	97.7%	3	1.4%
2M	40	40	100.0%	34	85.0%	6	15.0%	29	72.5%	11	27.5%	36	90.0%	4	10.0%
2E	38	36	94.7%	21	58.3%	15	41.7%	16	44.4%	20	55.6%	29	80.6%	6	16.7%
2J	45	45	100.0%	34	75.6%	11	24.4%	29	64.4%	16	35.6%	45	100.0%	0	0.0%
2C	47	47	100.0%	32	68.1%	15	31.9%	30	63.8%	17	36.2%	42	89.4%	5	10.6%
2Z	38	38	100.0%	36	94.7%	2	5.3%	33	86.8%	5	13.2%	38	100.0%	0	0.0%
2年次小計	208	206	99.0%	157	76.2%	49	23.8%	137	66.5%	69	33.5%	190	92.2%	15	7.3%
3M	50	50	100.0%	37	74.0%	13	26.0%	29	58.0%	21	42.0%	46	92.0%	4	8.0%
3E	39	38	97.4%	35	92.1%	3	7.9%	30	78.9%	8	21.1%	38	100.0%	0	0.0%
3J	42	41	97.6%	31	75.6%	9	22.0%	25	61.0%	15	36.6%	38	92.7%	3	7.3%
3C	45	45	100.0%	43	95.6%	2	4.4%	39	86.7%	6	13.3%	45	100.0%	0	0.0%
3Z	49	47	95.9%	41	87.2%	6	12.8%	39	83.0%	7	14.9%	46	97.9%	1	2.1%
3年小計	225	221	98.2%	187	84.6%	33	14.9%	162	73.3%	57	25.8%	213	96.4%	8	3.6%
合計	656	649	98.9%	529	81.5%	118	18.2%	449	69.2%	198	30.5%	620	95.5%	26	4.0%

表 1-B H22 年度との比較(学年別)



設問5の学習・教育目標の説明の実施に関しては全学年平均がおおよそ90%以上であった。全体としては、平成22年度の調査と比較するとすべての項目について周知度は大幅にアップしており、同様に学習・教育目標の説明の実施に関しては100%というクラスも多く見られた。なお、学年毎のアンケート結果の分析は次項以降に示している。

2. 各設問のアンケート結果の分析

■設問1 本校の「函館高専教育目標A~F」を知っていますか？（教育目標の内容を全て憶えていなくても結構です）

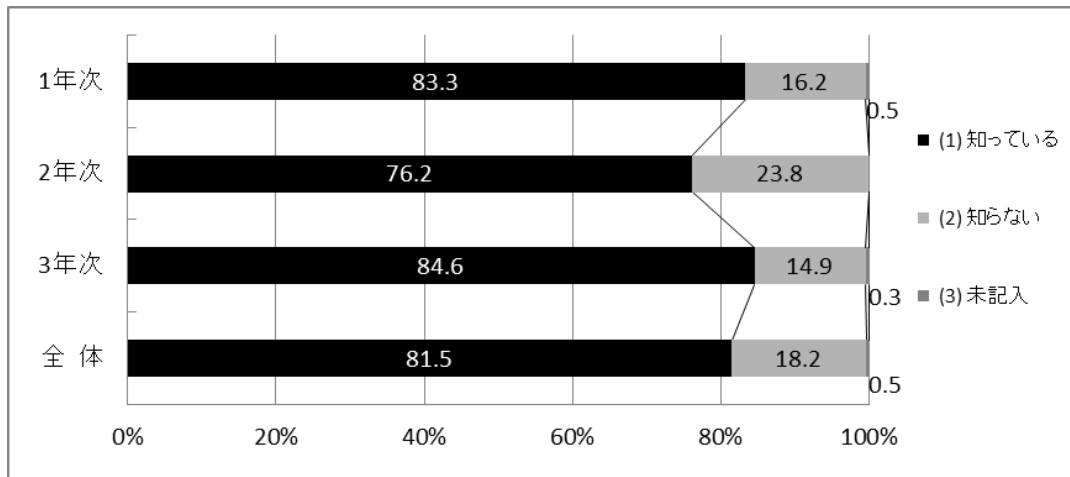


図1 設問1の集計結果

1年次と3年次の周知度がおおむね80%を超えるのに対し、2年次の周知度が76.2%と低い。この傾向は昨年も同様に見られた。2年次の教育目標の周知度が低い点は気になるところではあるが、全体的に周知度は80%を越え、昨年度の64.1%よりは大いに改善したといえる。

■設問2 質問1で(1)知っている、と答えた方にお伺いします。この教育目標をどこで知りましたか？
(複数回答)

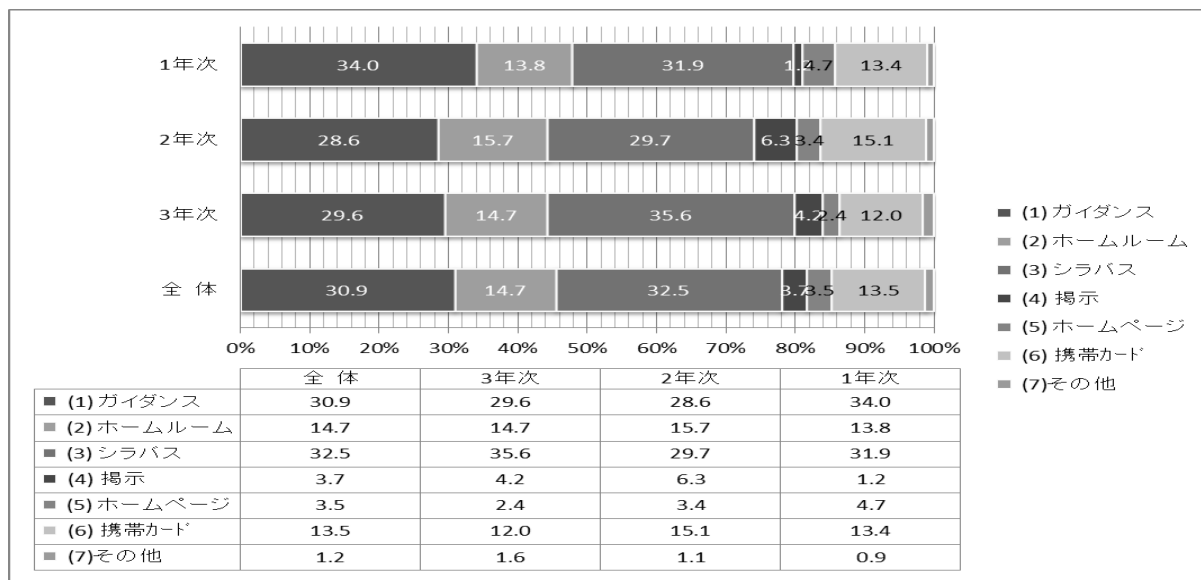


図2 設問2の集計結果

全体で見ると、(1) シラバス 32.5% (2) ガイダンス 30.9% (3) ホームルーム 14.7% (4) 携帯カード 13.5%の順に多く、掲示やホームページはそれぞれ 3.7%、3.5%と極めて低くなっている。この傾向はH22年度ほとんど変わらず、3位と4位が入れ替わっただけである。昨年度はホームルームが8.9%であったが、今年度は大幅に増えている。ホームルームでの説明が増えた理由には、昨年度は調査が6月末だったのに対し、今年度は調査時期が1ヶ月早い、5月中旬であった。そのため、ホームルームでのガイダンス等が行われる機会があったことも影響しているかもしれない。また、(7)その他(1.2%)は、「授業中に先生から聞いた」「パンフレットでみた」「廊下の掲示」などの項目があった。

■設問3 皆さんが所属する学科の「学科教育目標」(裏面)を知っていますか？
(教育目標の内容を全て覚えていなくても結構です)

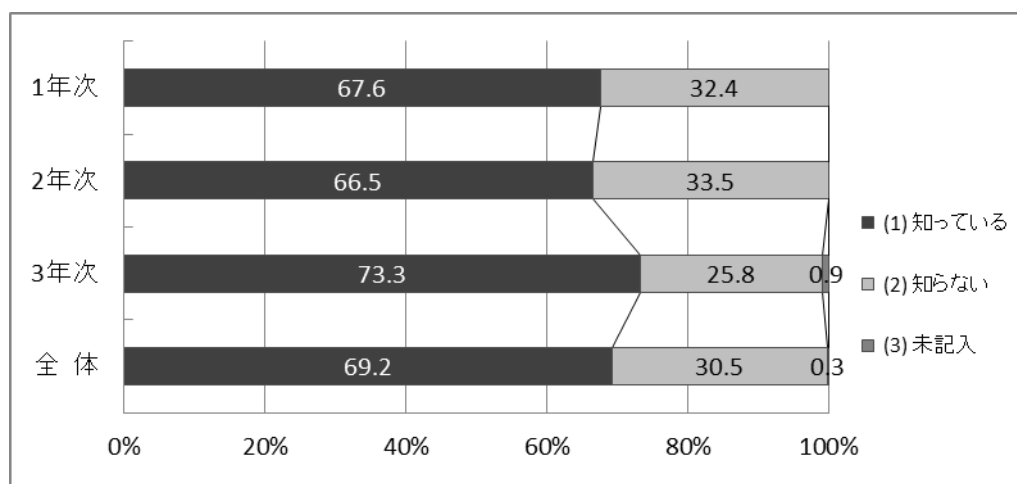


図3 設問3の集計結果

学科教育目標に関しては、1年次が67.6%、3年次が73.3%なのに対し、2年次が66.5%と2年次が

最も学科教育目標を知らないという傾向は昨年度と同様で変化していない。しかし、昨年度の2年次の周知度が40.4%であったことからみると、今年度の66.5%という数値は周知度はかなり改善したといえる。全体としても51.2%から69.2%と大幅な上昇が見られた。学科の平均をとってみると、以下のようになった。

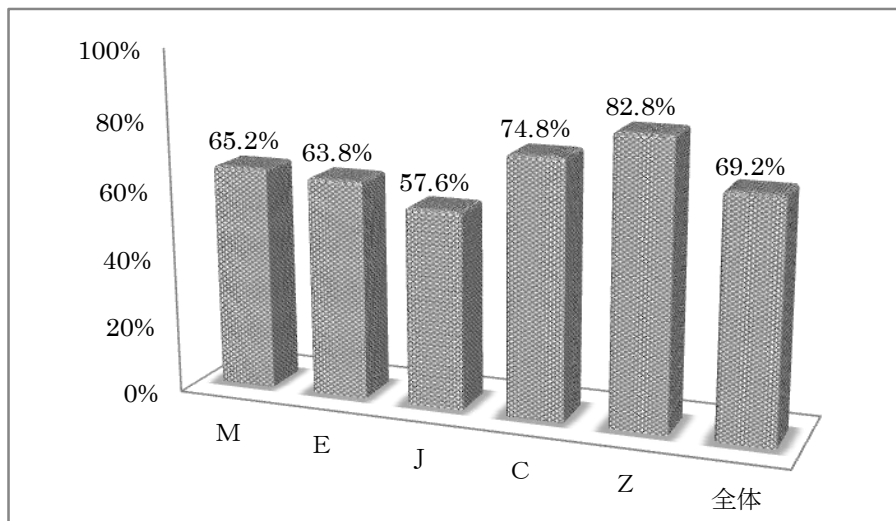


図4-A 学科別教育目標周知度平均

昨年度と比較すると、以下のようになる。

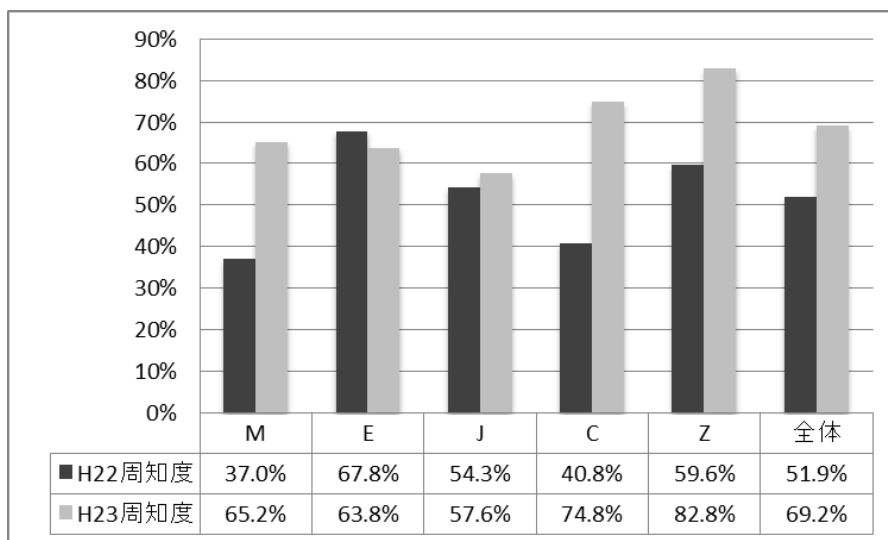


図4-B 年度別比較学科別教育目標周知度平均

機械工学科は37%から65.2%へ、物質工学科は40.8%から74.8%へと大きく増加したが、その一方で電気工学科は67.8%だったものが63.8%と微減している。学科目標周知度の全体平均がH22年度51.9%だったものが、H23年度は69.2%と大幅に改善している一方で、周知度が40%台のクラスが2クラスあり、(1 J 46.2%, 2 E 44.4%) クラスごとの差が大きいことが再度確認された。今後、改善に向けて、学科での取り組みと同様、各クラスにあわせた形での対策が必要であろう。

■ 設問4 質問3で(1)知っている、と答えた方にお伺いします。この学科教育目標をどこで知りましたか？（複数回答）

全体で見ると、(1) シラバス 39.1%、(2) ガイダンス 34.5% (3) ホームルーム 17.1%、の順に多く、昨年度と変化はない。学校教育目標と同様、掲示やホームページはそれぞれ低く全体の1割に満たない。また、(6)その他（全体で2.1%）は、「授業中に先生から聞いた」「パンフレット」「入試で聞いた」などがあげられている。

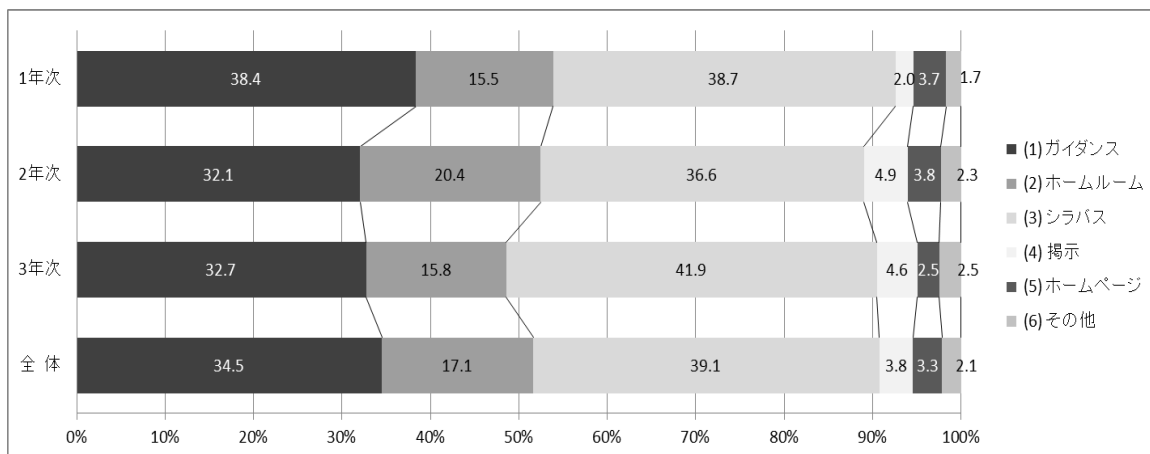


図 5-A H23 年度 設問4 の集計結果

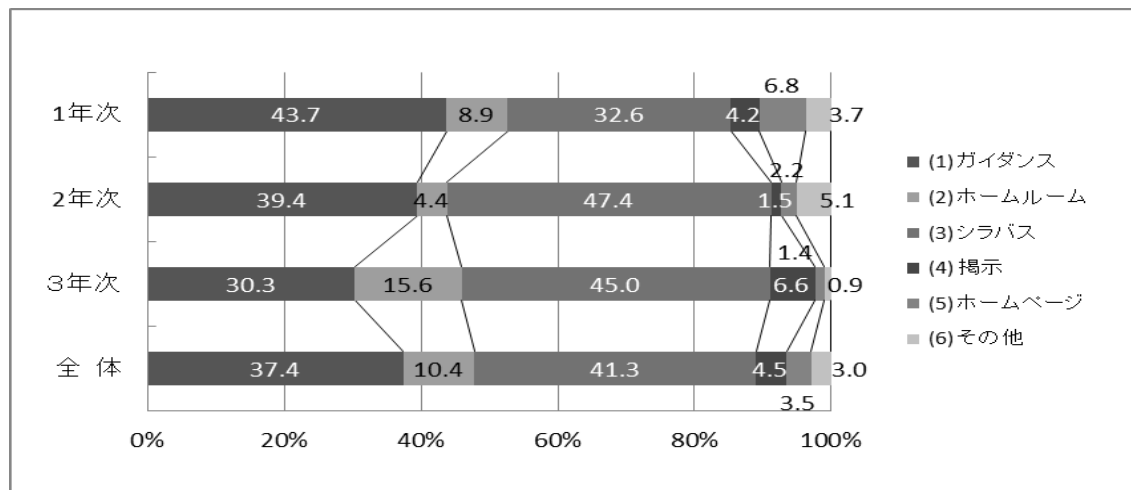


図 5-B H22 年度 設問4 の集計結果

図 5-B にあるように、昨年度と比べると、(3) ホームルームが増えている。これは学校教育目標での結果と同じ傾向で、アンケート調査の時期が昨年度に比べ早い時期に行われたので、ホームルームで学科説明等のガイダンスの機会があったためではないかと想定される。

設問5 教員から、教育目標の内容に関する説明はありましたか？

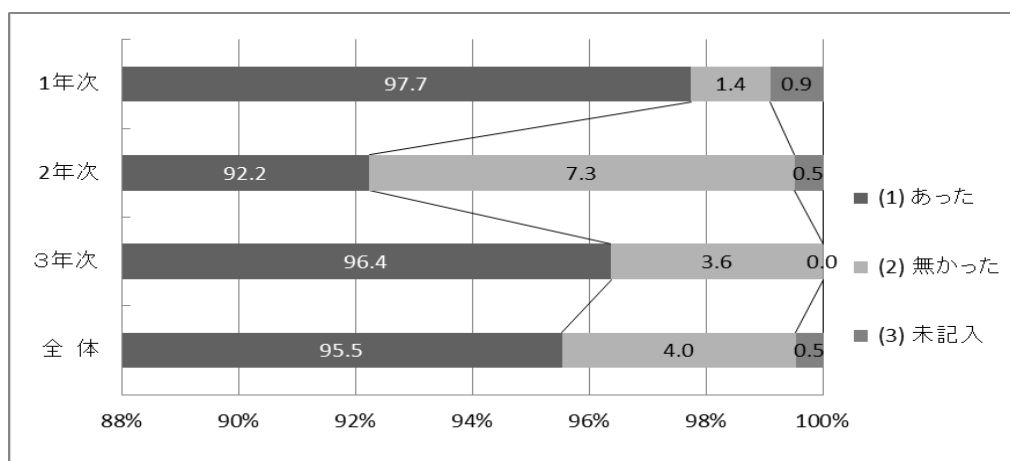


図6 設問5の集計結果

図6にあるように教員から函館高専教育目標・学科教育目標の内容に関する説明があったと答えた学生は全体で95.5%である。1年次では約97.7%、2年次で92.2%、3年次では96.4%が「説明があった」と回答しており、学年が上がるにつれてパーセンテージも上昇している。ここでもまた2年次の数値が一番、低く、2学年学生の学校教育目標や、学科教育目標に対しての意識が低いことがうかがわれる。2学年という学年の特徴なのであろうか。

3. 教育目標周知度アンケート調査結果

平成23年の教育目標周知度アンケートの調査結果として以下3点がこれらの現状から観察された。

- (1) 平成22年度と比較すると、今年度は学校教育目標、学科教育目標の周知度ともにおおむね上昇している。しかし、学校教育目標の周知度が平均80%以上なのに対して、学科教育目標の周知度には学科、クラスによって差があり、60~70%台である。
- (2) 教員からの学校・学科教育目標の説明があったかという問いに対しては今年度は3学年共に90%以上が「説明があった」と答えており、教員による学校・学科教育目標の説明は十分になされていると思われる。
- (3) 学校教育目標、学科教育目標の周知度に関して、平成22年度、平成23年度ともに、2学年の周知度が他学年と比較すると低いという特徴がみられた。

これらの現状から、函館高専教育目標・学科教育目標の内容については、教員が継続的に説明する機会を持つことが望ましいことがうかがえる。特に2年次の教育目標の周知度が低い傾向にあることを踏まえ、学年や学科ごとに工夫して教育目標の周知度の改善ならびにそれらを理解させる取り組みが必要と考えられる。学科教育目標をシラバスで知る学生の割合が多いことから、教員がシラバスを十分に活用して授業を実施することが有効であろう。

(文責：高橋真規子)

アンケート調査用紙

所属学科： M ・ E ・ J ・ C ・ Z 学年： 1 ・ 2 ・ 3

(該当する学科、学年を○で囲んでください)

函館高専教育目標・学科教育目標 周知度アンケート調査

本アンケートは、学生の皆さんへの「函館高専教育目標」と「学科教育目標」の周知度を調査するために実施するものです。認証評価などの外部評価において、重要な資料となりますので、よく考えて答えてください。

以下の各質問項目について該当する記号を○で囲んでください。

1. 本校の「函館高専教育目標 A～F」を知っていますか？（教育目標の内容を全て覚えていなくても結構です）

(1) 知っている。 (2) 知らない。
2. 質問1で「(1)知っている。」と答えた方にお伺いします。この教育目標をどこで知りましたか？（複数回答）

(1) ガイダンス（研修会など） (2) ホームルーム (3) シラバス
(4) 教室の掲示 (5) ホームページ (6) 携帯カード
(7) その他（記入して下さい：)
3. 皆さんが所属する学科の「学科教育目標」（裏面）を知っていますか？（教育目標の内容を全て覚えていなくても結構です）

(1) 知っている。 (2) 知らない。
4. 質問3で「(1)知っている。」と答えた方にお伺いします。この教育目標をどこで知りましたか？（複数回答）

(1) ガイダンス（研修会や説明会） (2) ホームルーム (3) シラバス
(4) 教室の掲示 (5) ホームページ
(6) その他（記入して下さい：)
5. 教員から、函館高専教育目標・学科教育目標の内容に関する説明はありましたか？

(1) あった。 (2) 無かった。

ご協力ありがとうございました。

■ 函館高専教育目標「A～F」

- A. 創造力と実行力を持った技術者
- B. 専門技術に関する基礎知識を持った技術者
- C. 情報技術を活用できる技術者
- D. 社会の歴史や文化、技術者倫理を理解して行動できる技術者
- E. 多面的なコミュニケーション能力を持った技術者
- F. 問題解決のためのデザイン能力を持った技術者

■ 各学科の教育目標 Educational Goals of Each Department

機械工学科 Mechanical Engineering

- 1 自主的に健康維持、増進を図ることができるとともに、集団の中での役割や責任を理解し、豊かな創造力でのづくりを実践できる技術者
- 2 数学、自然科学および機械工学の主要分野(材料と機械の力学、エネルギーと流れ、情報と制御、加工と生産)に関する基礎知識を持ち、それを活用することができる技術者
- 3 機械設計、製造、計測制御、解析およびネットワークなど、専門技術に関する基礎知識を基にコンピュータを活用することができる技術者
- 4 地球的視野で、歴史、文化、地理、政治、経済に関する教養を持ち、倫理を理解して行動できる技術者
- 5 自分の考えを論理的な文書にまとめ、成果をプレゼンテーションできるとともに、基礎的な英語コミュニケーションができる技術者
- 6 基礎技術に関する知識を総合的に活用し、システムの設計や問題解決に応用できる技術者

電気電子工学科 Electrical and Electronic Engineering

- 1 自ら考えたり議論したりすることでアイデアを創出し、ものづくりや調査研究などを計画的に遂行できる技術者
- 2 各種スポーツの実践を通して心身の健康の維持・増進を図ることができる技術者
- 3 数学、自然科学および電気電子工学に関する基礎的な知識や技術を持った技術者
- 4 情報処理の基礎技術を理解し、電気電子工学分野における技術的な問題解決や成果報告に役立てることができる技術者
- 5 国際的視野に立って歴史、文化、地理、政治・経済などを理解できる技術者
- 6 人間社会や地球環境に配慮した倫理を理解できる技術者
- 7 自分の考えおよび技術的な成果を文書や口頭で発表し、説明することができる技術者
- 8 基礎的な英語コミュニケーションができる技術者
- 9 電気電子工学分野の技術的な課題を解決するために、適正な方法を選択あるいは創造できる技術者

情報工学科 Computer Engineering

- 1 情報工学分野の実験実習を通して新たな実験やシステム設計・開発などを、自ら企画・立案・実現できる創造力豊かな技術者で、かつ自主的に健康維持・増進を図るとともに、集団の中での役割や責任を理解し行動できる技術者
- 2 数学、自然科学および情報工学の基礎知識を有し、それを様々な場面で活用できる技術者
- 3 情報工学分野において専門技術に関する基礎知識を基に、コンピュータを活用した設計・開発やデータ処理ができる技術者
- 4 地球的視野に立ち、歴史・文化・地理・政治・経済に関する教養を持ち、倫理を理解して技術を適用することができる技術者
- 5 自分の考えを論理的な文書にまとめ、技術成果をプレゼンテーションできるとともに、基礎的な英語コミュニケーション能力を持った技術者
- 6 システムを構成する技術についての基礎知識を持ち、その知識を有機的に結合して新たなシステムの設計・構築やそれを問題解決のために応用できる技術者

物質工学科 Material and Environmental Engineering

- 1 集団の中での役割や責任を理解し、豊かな創造力で物質工学科の分野の、ものづくりを実践できる技術者
- 2 数学、自然科学および物質工学の主要分野に関する基礎知識を有し、それを活用できる技術者
- 3 物質工学の専門分野にコンピュータを活用することができる技術者
- 4 地球的視野に立ち、歴史・文化・地理・政治・経済に関する教養を持ち、倫理を理解して技術を適用することができる技術者
- 5 自分の考えを論理的な文書にまとめ、技術成果をプレゼンテーションできるとともに、基礎的な英語コミュニケーション能力を持った技術者
- 6 システムを構成する要素技術についての知識を持ち、その知識をシステム的设计・問題解決のために応用できる技術者

環境都市工学科 Civil Engineering

- 1 チームの一員としての役割と責任を理解して自主的・継続的に行動できる技術者
- 2 数学、自然科学や土木・環境技術などの環境都市工学に関する基礎的な知識を持ち、それを活用できる技術者
- 3 設計製図や卒業研究などの環境都市工学に関する技術にコンピュータを活用でき、情報処理の基本技術について理解している技術者
- 4 国際社会の歴史、文化、地理、政治・経済などについて理解した上で、環境都市工学の果たす役割や自然に及ぼす影響を認識して、地域社会の発展に貢献するなど、技術者としての倫理と責任を自覚して行動できる技術者
- 5 自分の考えを論理的な文章にまとめ、成果をプレゼンテーションできるとともに、基礎的な英語コミュニケーションができる技術者
- 6 卒業研究や設計製図、創成科目を通じて、問題解決に向かって総合的な知識を動員し、関連技術を組み合わせることで具体的な結果の方向を見出すことができる技術者